

問 来年度も障がい者枠職員募集を行うか
答 詳細な詰めはしていない



加藤亮輔 議員

【障がい者の職員雇用の拡大】

問 障がい者の自立と社会参加の拡大は就労が重要。30年度職員募集は、障がい者枠を設けたが、その結果は。

答 1名の応募があり採用した。午前中は片舎の清掃業務、午後は事務作業。

問 一歩前進だが雇用率158で、法定雇用率は25。31年度も引き続き障がい者枠を設けて募集を行うか。また臨時でなく、一般職雇用は。

答 1年間の雇用後は嘱託という方法もある。待遇改善を進めていきたい。一般職については、障がい者の方に合理的

配慮を必要とする場合は、就労環境を整えるので、雇用が可能と考える。31年度職員募集の詳細な詰めはしていない。

問 財源確保のために、小水力発電建設を検討していかなければならないか
答 検討していかなければならない

【村の財政状況と財政運営】
 歳入を増やす方法は。

問 行政改革と徴収の強化、使用料・手数料の見直し、未利用財産の売り払い、また返礼品を充実させてのふるさと納税制の強化など。

問 財源確保のために小水力発電の売電価格を活用すべき。村も暑い。小、中学校も、庁

舎も、エアコン導入時期を迎えている。また、気象庁の地球温暖化予測情報では、降雪量が東日本の日本海側で極端に減ると予測されている。降雪機のフル稼働の時代も考えられる。自前の電力確保は、重要な課題だ。すでに、概略設計が2件できている。なぜ建設しないのか。

問 旧ノルウェービレッジの土地、建物は平成26年に白馬村とヤフー(株)と不動産賃貸借契約を結び、賃貸料として年43万円をいただき、白馬村は土地の所有者に年額152万円支払っている。毎年109万円の税金の持ち出しは不合理だ。

答 導入可能調査は実施した。しかし、平川の小水力発電で故障があり、状況を見守っている。導入については、検討していかなければならないと思う。

問 ヤフー(株)は、現在62万3千円で、土地所有者との契約は、現在150万円。不合理な面はあるが、すぐに貸し借りの差額を埋めることは困難。持ち出しを少なくするよう努力することは当然。

問 白馬山麓清掃センターの土地賃貸借契約は、

1983年に借地料及び迷惑料込みで年額569万6千円、60年契約を締結。35年間で1億9936万円になり不合理と考える。今後の対応は。

答 土地の確保は、使用目的や内容によって、一元的な対応はできない。長年、適切に運営されてきた実績から見ても、

また、清掃センター敷地を理由に不動産価格の減価とか、当時の権利面からも、不合理とは考えられない。今後は、リサイクルセンターの建設を視野に、裁判手続を進めている。方向性が決まれば、地権者や小谷村とも相談をしながら進めたい。



財源確保は小水力発電の売電事業で…